

# 棚POWER<sup>®</sup>2012



主な新機能

### 図形配置機能の新設

棚割の自由な場所に線・図形・コメントを配置できる機能を新設しました。従来は、棚割図をPower PointやExcel等に貼り付けて加工をする必要がありましたが、棚POWER上で作業を完了する事ができます。

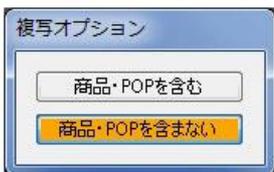


Power PointやExcelと同じように、リボンから図形を選択・配置する事ができます。直線・長方形・文字などを組み合わせる事で、棚割を自由に彩る事ができます。コメントや図形も含めて棚割モデルとして保存できるため、「過去にどんな棚割だったのか」だけでなく、「どんな訴求点をアピールしたのか」まで確認できます。



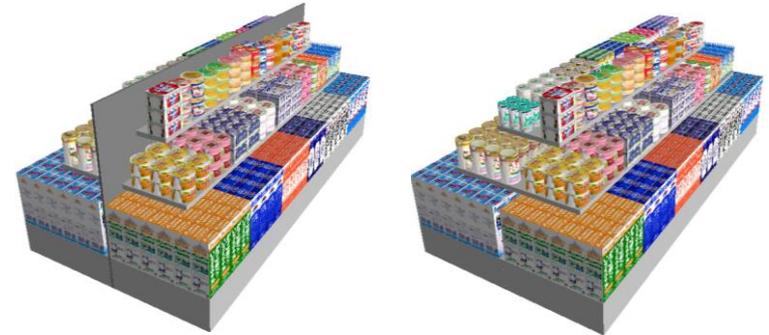
### 什器複写時、什器のみを複写可能に

棚POWER 2011では、商品が陳列されている什器を複写すると、必ず商品も同時に複写されていましたが、棚POWER 2012からは、什器複写時に「商品・POPを含む/含まない」を選択できるようになりました。



### 3D時、什器の背板出力の有無に対応

棚割を3Dで表示する際、什器の背板を非表示にする事ができます。これにより、ラウンド什器の再現が手軽に行なえます。背板出力のon/offは、什器配置タブの詳細設定や、マスターメンテナンスから設定する事ができます。



### 棚割編集中にマスターメンテナンス

棚割モデルを編集している時にも、マスターメンテナンスタブからデータの編集が可能になりました。新商品の追加や、カテゴリーグループの登録などが必要になった時でも、棚割モデルをいちいち閉じずにその場で対応が可能です。



### 棚の挿入・移動・複写時に棚高をポップアップ表示

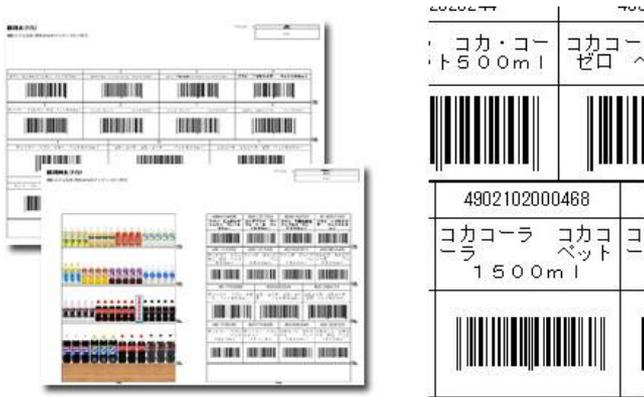
棚割編集画面で什器の棚を編集する際に、マウスの移動に合わせて棚高をポップアップ表示します。棚をどの高さに設置するのか、正確な数値を確認しながら作業をすることができます。

### 連結棚の移動に対応

棚POWER 2011では、連結されている棚の移動が行なえませんでした。棚POWER 2012からは連結棚の移動に対応しています。

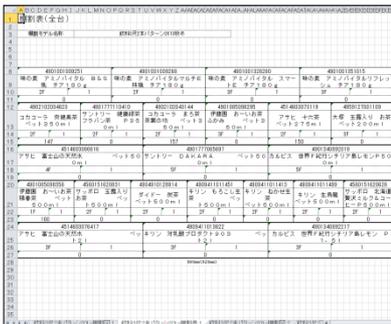
## 棚割表にバーコードを出力

棚割表の中に、商品のバーコードを出力することができます。ハンディでそのままスキャンできますので、発注などの業務にも利用できます。



## 複数モデル/複数帳票を1ファイルに出力

複数のモデル、複数の帳票をExcelで出力する場合、すべてを1つのファイルにまとめて(Sheetに分割して)出力することができます。



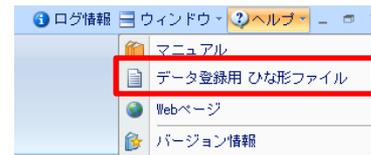
## 売上情報インポート時に売上情報マスターを登録

従来は、事前に売上情報の名称とコードを登録してからでないと、中身の数値データを登録できませんでした。棚POWER 2012では、「データ移行」タブの「インポート」から「その他形式」の売上データをインポートする際に、売上情報の名称とコードも同時に新規登録することができます。



## ヘルプメニューにひな形ファイルをセット

ヘルプメニューに、商品情報、商品分類などのひな型ファイルをセットしました。初めてデータ登録する場合などに、手軽に必要なファイルを準備することができます。



商品分類	メーカーや品種といった商品が属する情報
商品分類1	第 1 属性(メンテナンス画面で最上位にくる項目)です。メーカー、大分類など。【初期値..メーカー】
商品分類2	第 2 属性(メンテナンス画面で二番目にくる項目)です。品種、ブランドなど。【初期値..品種】
最大 50 分類の登録が可能です。第 3 属性以降の商品分類を登録する場合は、別途棚POWER から出力するか、上記ファイルの「A1」セルの番号を変更してください。 【例: TPOWER CLS001(第 1 属性分類) → TPOWER CLS003(第 3 属性分類)】	

## POS分析データもバックアップ対象に

棚POWER 2011までは、バックアップデータにPOS分析が含まれず、パソコンの載せ替えなどの場合は、再度POS分析用の各データのインポート作業が必要でした。棚POWER 2012では、POS分析用のデータを「ファイル管理」していた場合はバックアップデータに含まれますので、バックアップデータの「復元」処理を行なうだけでデータの再現が可能です。POS分析の管理体制は「環境設定」で変更できます。